

Uniface Anywhere

リリース6.0

簡易インストールガイド

2020年1月 第1版

第1章 概要

本書では、「Uniface Anywhere 6.0 をすぐ動かしてみたい」とお考えのお客様を対象としています。Uniface Anywhere 6.0 は本書に記載以外の機能も持っておりますので、必ず製品に付属のマニュアルもしくはオンラインヘルプも合わせて参照してください。なお、本資料を作成するにあたって、Uniface Anywhere HostにWindows Server 2012 Standard Edition を例として記述しております。

システム要件

Uniface Anywhere Hostとしてサポートしているプラットフォームは下記の64bitWindowsOSになります。

- Windows Server 2019 (Standard , Datacenter)
- Windows Server 2016 (Standard , Datacenter)
- Windows Server 2012 R2 (Standard , Datacenter)
- Windows Server 2008 R2 (Standard , Enterprise)
- Windows 10 (Professional, Enterprise)
- Windows 8.1 (Professional, Enterprise)
- Windows 7 (Professional, Ultimate, Enterprise)

*マルチプルユーザ環境のWindows Serverを推奨します。

- ・ Uniface Anywhere Host は、最新のWindows アップデートに対応
- ・ 環境によっては、Security Rollup Packageに対応
- ・ Uniface Anywhere アドミニストレータは インストールの際、アドミニストレータ権限を必要とします。TCP/IPネットワークプロトコルが導入済みのである事が必要です。
- ・ ログオンユーザーは、Uniface Anywhere Hostyに対話的に（ローカルに）ログオンできる必要があります。ローカルセキュリティポリシー、ドメインセキュリティポリシー、ドメインコントローラセキュリティポリシーユーザにローカルアクセス権限を投与してください。
- ・ Uniface Anywhere は、TCPパケット用にポート 491(デフォルト)が割り当てられます。
 - . 外部ファイアウォールにTCPポート 491を許可してください。
- ・ 色数は 256以上をサポートしていますが、1600万以上を推奨します。

サーバ要件

JTi サーバーの設定には下記のいずれかのWebサーバーがインストールされている

Microsoft IIS

Apache HTTP サーバー

第2章 インストール準備

インストールメディア

Uniface Anywhere 6.0 HostはUniface downloadサイトからダウンロードしてください。

URL: <https://download.uniface.com/>

フォルダパス : /downloads/UnifaceAnywhere/v6/
Host : V6UAHost-B28719.exe
Client: V6UAClients-B28719.exe

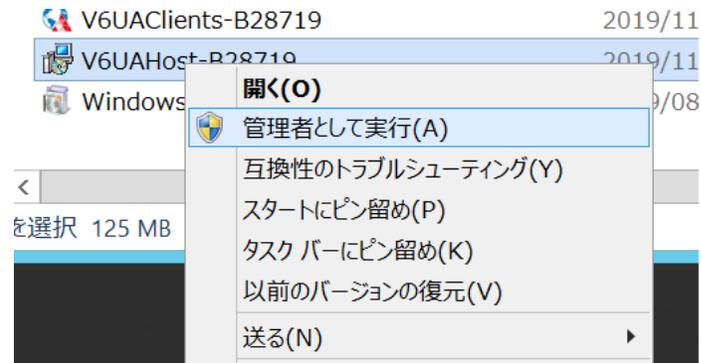
ビルド番号(2020年1月時点) : B28719

Uniface Downloadへのアクセスは登録制となります。登録手順については、弊社サイト、技術資料ダウンロード、**Uniface Download簡易登録ガイド**を参照ください。

URL: https://www.synapse-i.jp/wp-content/uploads/2019/12/uniface_downloads_guide.pdf

第3章 インストール

1. インストーラを起動
「管理者として実行」でインストーラを起動してください。





2. デフォルト設定を変更する際はCustomizeを選択して変更してください。



3 Installation Location : Uniface Anywhereインストールフォルダを指定しています

オプション

- Host : コアHost モジュール
- Web : Webコンポーネント
- Licensing : ライセンスマネージャー

4. Installボタンを押してインストールを開始



5. PCを再起動してインストールを完了します。